

長谷川農園

多品目野菜の栽培・販売と新たな商品開発で「県民の野菜生活や食育」に貢献する「まえばし野菜パーク」事業



6次産業化事業をはじめたきっかけ

魅力的な商品開発で収益の安定と、食育・地域交流の場である農場の実現を目指した。

長谷川和俊さん

6次産業化認定事業者（平成24年2月29日認定）

長谷川農園

〒371-0051 群馬県前橋市上細井町565-11

TEL/FAX：027-289-4610

代表者：長谷川和俊 主な事業：野菜作農業等

野菜ソムリエの資格に裏付けられた提案を

前橋市のベッドタウンである上細井地区で、都市近郊農家のスタイル確立を目指している。キュウリのハウス栽培をメインにしていたが、結婚や子育てをきっかけに農業に対する想いが変わったという。そこで生まれたのが、「エコファーム」「低農薬・低化学肥料」「農業体験や給食を通じた食育」「農業研修生の受け入れ」「加工品製造・販売による収益の安定」などをテーマにした「まえばし野菜パーク」の構想である。



園主の長谷川和俊さんはジュニア野菜ソムリエ、妻の恵理子さんはシニア野菜ソムリエをそれぞれ取得した。恵理子さんは、「食育は子どもの前に大人から。野菜本来の力を伝えたいです」と、知識に裏付けられた説得力のある提案で農産物の魅力を伝えている。

規格外品の有効利用で収益安定を狙う

現在の主力商品は、赤城の恵ブランド認証の「ニンジンジュース」(ひとみ5寸種100%)や野菜パウダー、乾燥野菜だ。学校給食にも提供される野菜なので、消費、

除草剤、化学肥料を最低限に抑えているという。市内のパスタ製造販売業者と、野菜パウダーを使ったオリジナル生パスタを開発。色味や香り、栄養価に優れ、好評を得ている。

野菜パウダーや乾燥野菜の製造では、規格外作物の有効利用が図れるメリットが大きい。乾燥させる温度や時間を研究することで、栽培する野菜のほとんどをパウダーにできるようになった。将来的には野菜パウダーを使った調理体験ができるイベント施設を設ける予定だ。

「大規模化が難しい都市農家でも、支持してくれる消費者を増やしていくことで、安定した経営が成り立っていくことを示していきたいです」と園主。息子さんも農園に入り、後継者としての勉強を始めた。

取材後記

園主の発想には、地域貢献や農業への貢献が常にある。休耕地を借り入れての耕作面積拡大や、研修生の積極的な受け入れなどを通して、農地や農業を次の世代に引き継いでいきたいという。6次産業化が地域活性化、農業活性化の動力源になることを期待したい。

ニンジンジュース
「赤城山麓ポルッカナーナ」
前橋産ニンジン100%。
野菜ソムリエが作った
ニンジンジュース
1本720ml 1,500円

ドラベジ シリーズ
チップス 100g 150円
パウダー 100g 150円



ニンジンジャム
「赤城山麓ポルッカナーナ」



赤大根ドレッシング(右)
大根ドレッシング(左)

